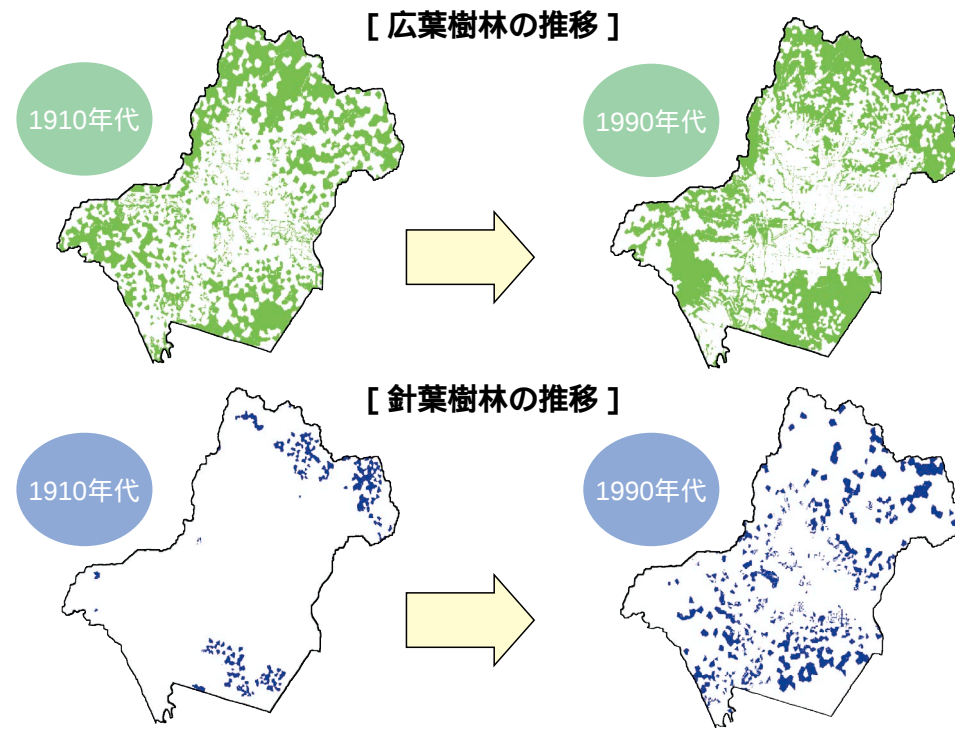


暮らすくふうを目指そう。そして次の世代に豊かな自然を引き継ごう。

その3

くっちゃんの森は、
増えている？
減っている？

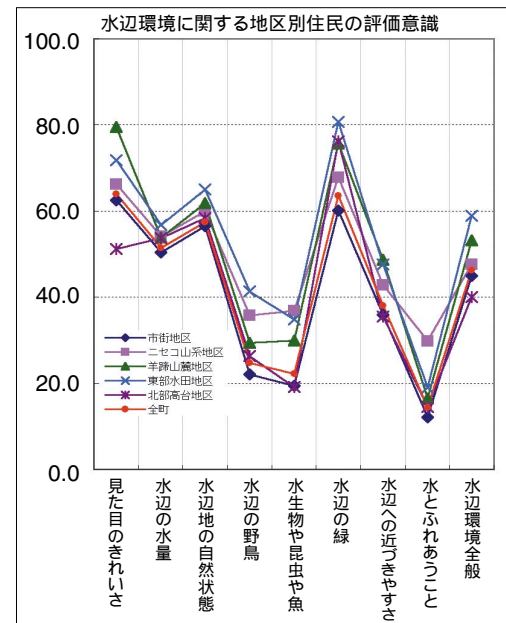
町内の樹林地は、80%が天然林でその96%が広葉樹林、残りの20%が人工林でその95%が針葉樹林です。このように広葉樹がまだ広い面積を占めています。その面積は着実に減少しています。一方針葉樹林の面積は、植林によって増えてきました。カラマツなどの植林で一旦緑が増えて見えても、何知安にもともとなった森が減少し、生物の生息環境も少しずつ変化しているのです。



その4

水辺で自然を
楽しむ機会、
このごろありますか？

住民アンケートによりますと、水辺と触れ合う機会も、水辺への近付きやすさも大きく低下し、満足度も関心も落ち込んでいます。ライフスタイルの変化や、河畔林や護岸工作物などで近づくにくくなっていることも、その背景と思われます。結果として、水辺の生物や水質など環境の悪化に気付かなくなることが心配です。



その5

エゾタヌキ、車で
ひかれるのが多い地域

道内の国道で車にひかれている小動物調査をしたところ、倶知安町内でのエゾタヌキの死亡率が非常に高い。自然や野生生物と共生する地域を作ることも必要です。



タヌキ（山と溪谷社出版「日本野生動物」より転載）

**はじめての
一歩** こんな環境を目指したい

基本理念は、循環と共生のまちづくり

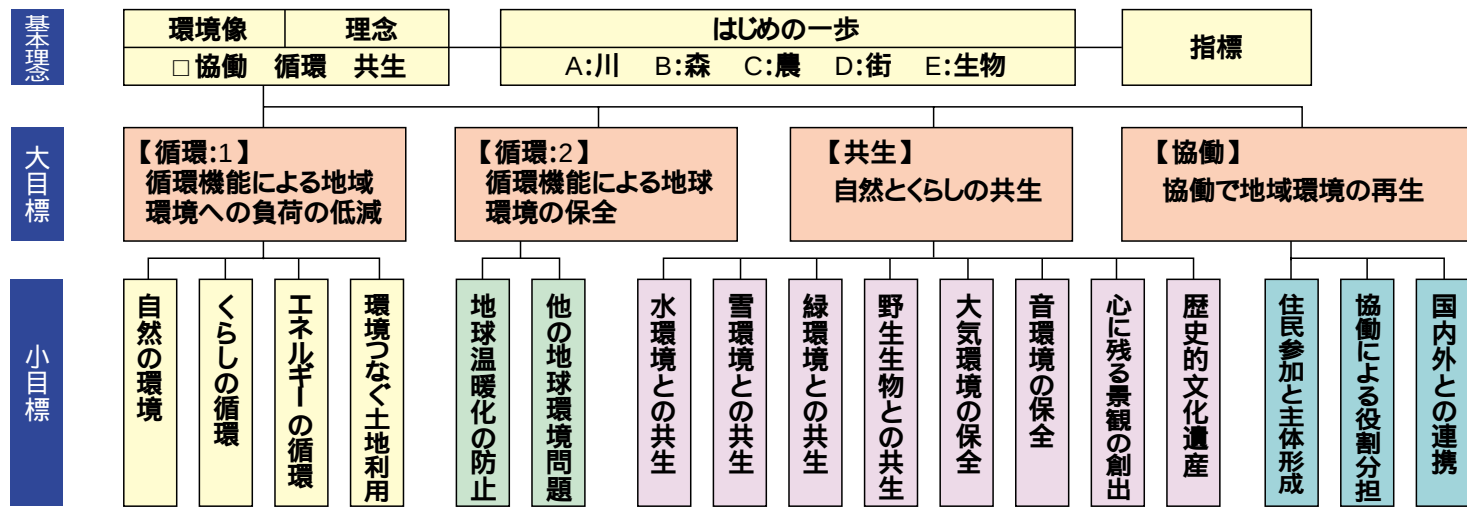
通常の事業活動や日常生活から生ずる環境負荷が、環境の質を低下させています。かけがいのない自然環境を持続的に活用する豊かなまちづくりを進めるため、資源やエネルギーが持続的に循環できるさまざまな仕組みを地域に定着させることを目標に、基本理念を定めます。

基本理念の実現は、
住民、事業者、行政の
協働で

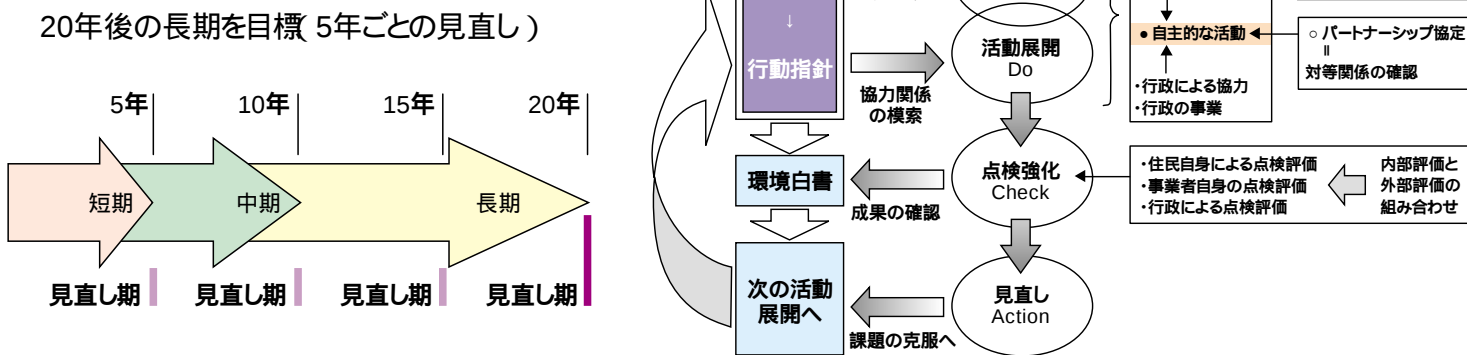
基本理念を実現するには、これまでのように行政が中心となることは必ずしも適切・効果的とはいえません。環境問題発生源の当事者である住民や事業者そして行政が、課

題を解決する主体の一翼として積極的に取り組むことが不可欠となります。住民、事業者、行政が互いに協力し合う、協働の仕組みが求められます。

環境を見直す多様な施策の体系



計画の進行管理は協働の力で



〒044-0001 虻田郡倶知安町北1条東3丁目 TEL 0136-22-1121 FAX 0136-21-6200 URL <http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/index.jsp>

この概要版は、全国モーターボート競走施行者協議会からの助成事業で作製したものです。

協働で創造する、自然生態系に即した 循環と共生のまちづくり



航空写真は倶知安町風土館（2001年）、3次元化処理は酪農学園大学金子正美研究室

**はじめの
一歩** 倶知安町環境基本計画 概要版

2006(平成18)年3月

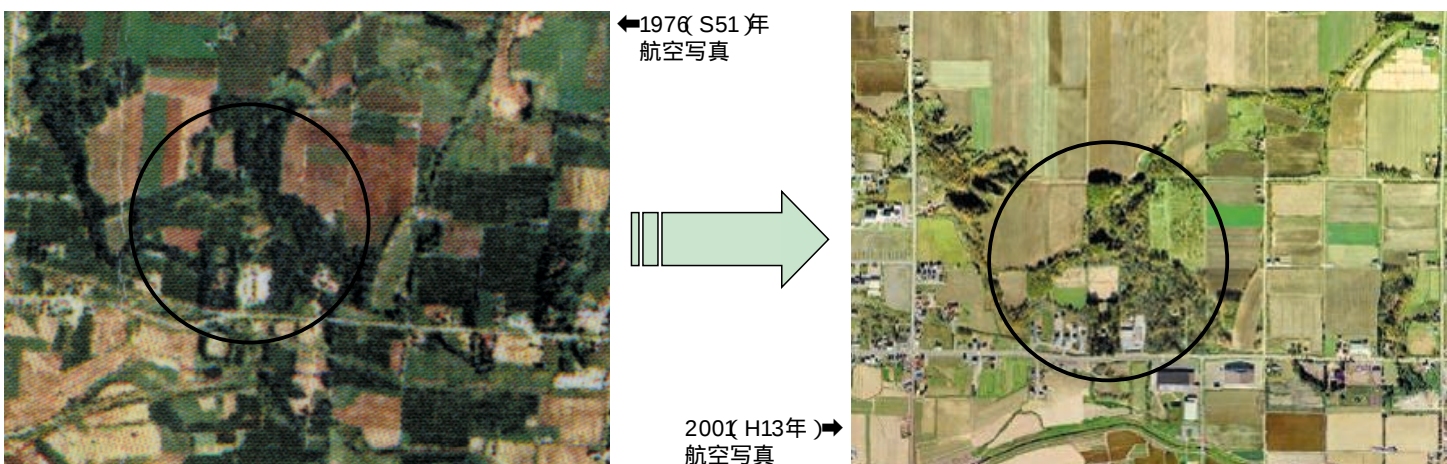
俱知安町

くっちゃんの環境の変化

経済の発展により自然が失われている。自然を守りながら快適に

最近、百年の森に生息する野生生物が増えていると言われるようになりました。その背景には、一見自然豊かになっている印象ですが、森が失われ、周辺の山林原野に生息していた野生生物が生息できなくなり、

このように、豊かと言われる自然環境についても、さまざまな形でその生態系を脅かす事態が進行しているのです。

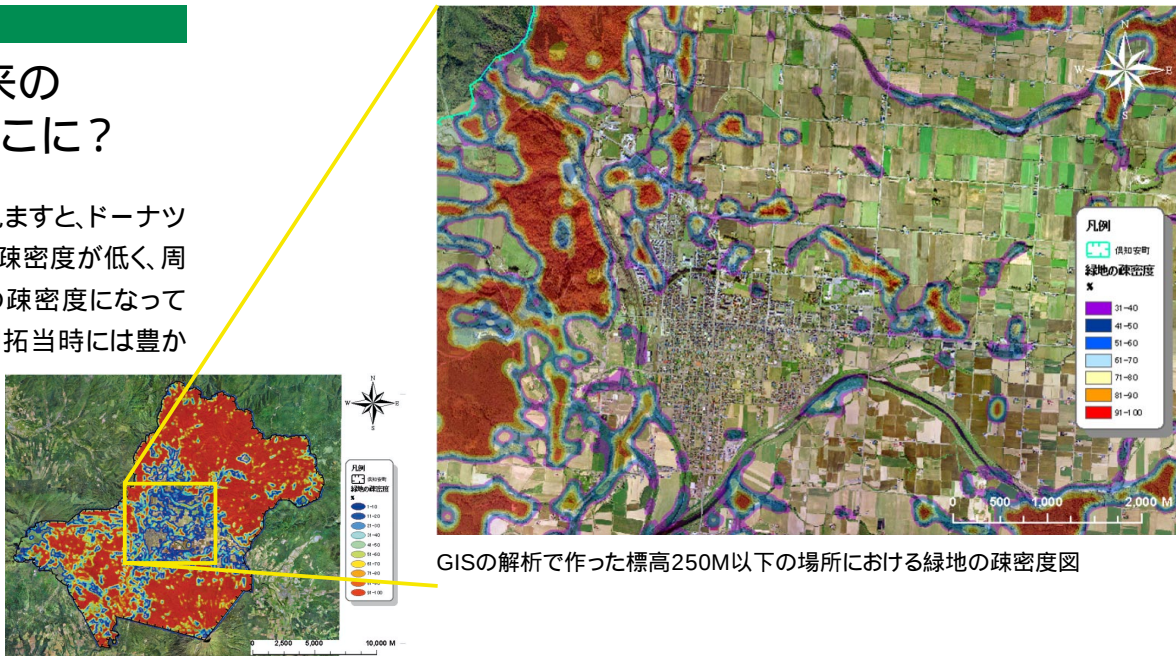


コウモリの巣箱設置➡

その2

くっちゃん本来の
自然の姿はどこに？

緑地の疎密度図を見ますと、ドーナツ状に市街地ほど緑地の疎密度が低く、周辺の山々に高い緑地の疎密度になっています。市街地にも、開拓当時には豊かな自然がありました。その姿が残され俱知安本来の生態系を教えられる場所が、百年の森です。市街地にも、もっと本来の自然を呼び戻したいものです。



GISの解析で作った標高250M以下の場所における緑地の疎密度図

はじめの
一歩

目標に向かう「はじめの一歩」を、住民、事業者、行政の協働で

「倶知安町環境基本計画」の基本理念をより効果的に実現するために、倶知安町の地域特性を反映した5つのプロジェクトを設定し、取り組みます

A

川の流域環境を見直す
はじめの一歩

クタン川と硫黄川の自然の循環を再生する(北部地区)

■取り組み内容

流域の自然観察体験などによる実態調査

- 自然など周辺の観察、グリーンウェイ
- 流域周辺のマップづくり
- 水生生物調査、河畔植生調査
- 河川工作物の実態調査と改善策の現場実験

畑作・酪農地帯や市街地周辺が水循環に与える影響の把握

- 硝酸態窒素の地下水浸透の実態と原因そして影響調べ
- 酪農地帯の糞尿管理と堆肥作りと河川への影響把握
- 流入する廃棄物・排水の実態把握

自然性や歴史性の再生に関する調査・検討

- 硫黄川上流の産業遺産調査
- エコツーリズムの実現可能性を検討、社会実験
- 望ましい流域周辺の土地利用ルールも模索



砂利川の魚道調査

B

山と森の環境を見直す
はじめの一歩

羊蹄とニセコの森の機能を再生する(南西部)

■取り組み内容

羊蹄山の登山路周辺と山裾森林の実態調査

- 登山路周辺の植生マップづくり
- 「地下水脈の行方」マップづくり
- 森林浴のグリーンウェイづくり
- 四季それぞれの森の体験学習プログラム「森との交流研修ツアー」
- 植林や育林などへの住民参加活動

ニセコ山系の散策路周辺の実態調査

- ニセコ山系に眠る歴史資源の再発見と資源活用の社会実験
- 河川上流域での植林や育林などへの住民参加活動
- リゾート観光と共生する自然保全のルールづくり
- 散策路と里地を結ぶグリーンウェイづくり

羊蹄山とニセコ山系など山間部森林を往復する野生生物の行動圏確保

- 野生動物の国道横断の実態調査
- 国道横断のエコロードづくり



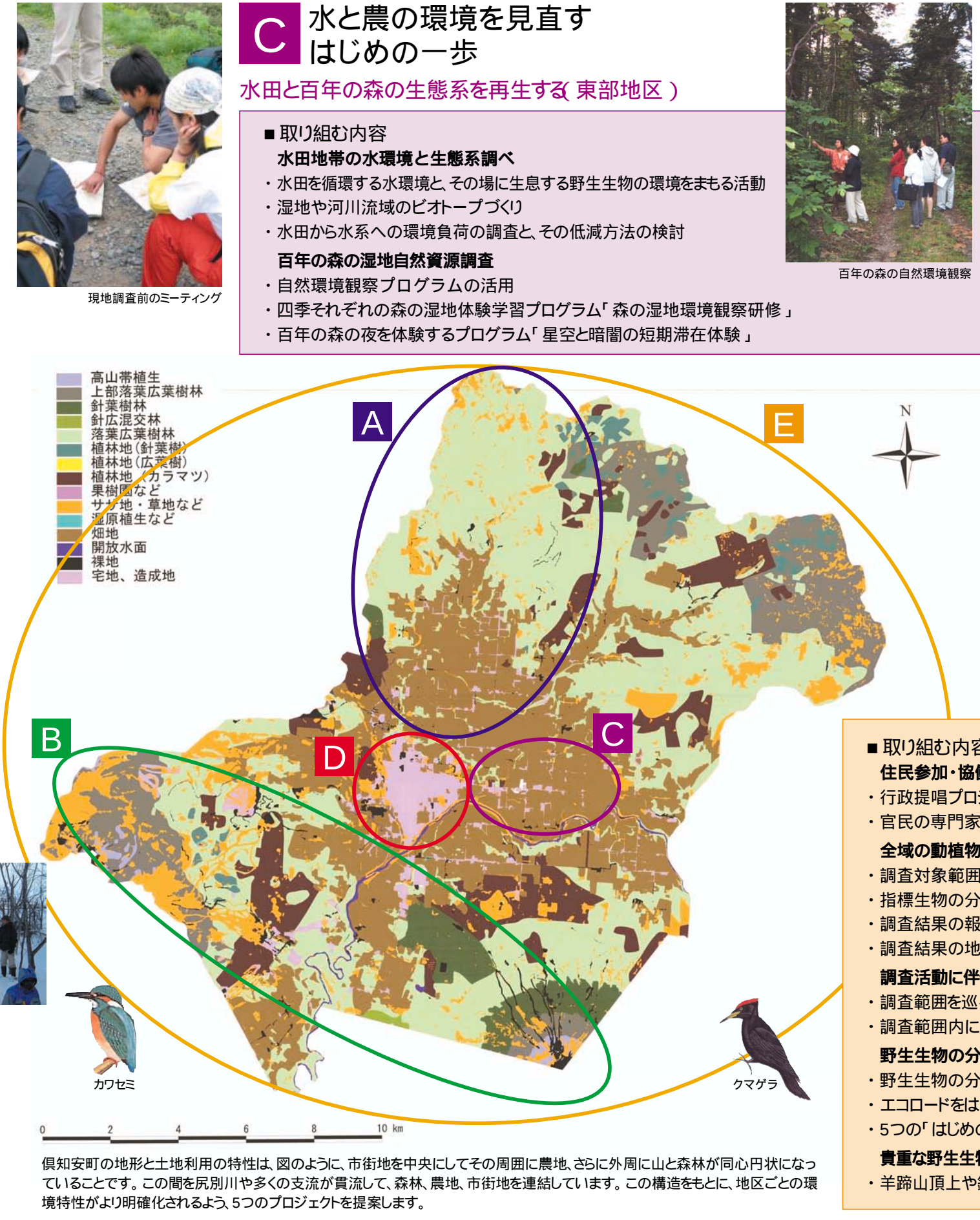
スノートレッキング



カワセミ



クマゲラ



D

市街地の環境を見直す
はじめの一歩

街路樹と花で市街地景観を再生する(市街地区)

■取り組み内容

都市公園や街路樹などの樹種調べ

- 在来種と外来種の区別
- 外来種樹木の変更方法を検討
- 緑の街並みストーリーづくり
- 緑視状況視認調査の実施
- 若い樹木の植樹や育樹の活動

街路の植栽柵の花と緑づくり

- 生ごみ堆肥で植栽柵の土づくり
- 街路樹や公園の樹木の落葉による堆肥づくり
- 地域や個人有志で植樹利用のガーデニング
- 花による街並みストーリーづくり
- 山引き苗の採取による在来種樹木の苗作り
- 協働による街路樹の再生計画づくりの提唱と検討

街路樹や公園緑地以外の市街地緑の回廊づくりの検討

- 市街地の緑の配置に関する住民プランを作成
- 河畔緑地や農地周縁緑地、斜面緑地の連続性の回復
- 都市緑地に潜在植生を回復させる実験



森を未来にのこすための植樹祭

E

野生生物の環境を見直す
はじめの一歩

多様な野生生物種の生息状況を調べ(全域)

■取り組み内容

住民参加・協働による取り組みの推進

- 行政提唱プロジェクトへの住民参加
- 住民の自主的な調査プロジェクト
- 官民の専門家研究者による協力
- 中長期にわたる調査プロジェクト

全域の動植物調査と調査結果のデータベース化

- 調査対象範囲の検討
- 在来種と外来種の区別
- 指標生物の分布
- 同定作業などに専門家チームの協力体制
- 調査結果の報告書をホームページに継続更新
- 調査結果の地理情報システム(GIS)データベース化

調査活動に伴うフットパス、グリーンウェイの整備

- 調査範囲を巡るルートの設定
- 調査範囲内に短いフットパス、グリーンウェイを設定し、連結する

野生生物の分布を市街地に積極的に導入する緑の回廊をもとにした景観デザイン

- 野生生物の分布状況をもとにした、生息環境の連続化拡大のプランづくり
- エコロードをはじめとする生息環境の保全プランの取りまとめ
- 5つの「はじめの一歩」(ABCDE)の連携を図る緑の回廊づくり

貴重な野生生物が生息している自然環境を適正に利用するためのルールづくりを進める

- 羊蹄山頂上や鏡沼周辺などの利用に関するルールづくりと、ルール遵守の仕組みづくり

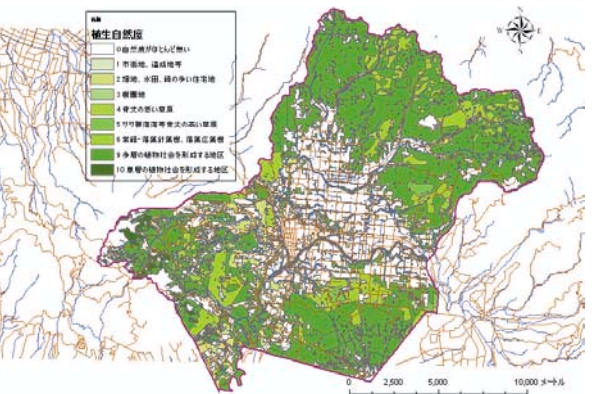
はじめの
一歩

身近なところから取り組んでみませんか!

2005(平成17)年6月~10月に実施した倶知安町環境ウォッチングツアー

まちの環境スポットを歩いてさがそう

並木道やきれいな花が咲く場所、野生動物がいる場所、環境の良い場所や心地よいところ、環境が悪いところなど、地域の環境について情報や文字で地図をつくらう。そこから新たな発見や環境を見つめ直すきっかけにしよう。



まちの環境マップ作成



植生自然度図



地域環境マップ作成



世界共通のグローバルアイコン125個ある

市街地の緑のネットワーク調査活動

緑の少ない倶知安の市街地を、河畔や施設、街路など都市の様々な緑地を少しずつ連結して緑の回廊を形成を目指そう。町外の大学研究室から緑地分布の祖密度GISデータの提供を受け、樹木や自然に詳しい町内研究機関の実地指導も得ながら、住民の視点と方法で回廊復活の方策を探ろう。



市街地の緑のネットワーク調査の様子



胆振線跡地調査(北陽小学校北側)

自然観察・体験トレッキング調査活動

(全国モーターボート競走旅行者協議会助成事業で実施)

川や森、山、そして動植物や産業歴史遺産など、町内の多様な自然環境資源について、実際に現地に出かけて体験や観察を重ねることで、自然環境とくらしのかかわりについて実践的に考えていく活動をしてみましょう。



コースMAP



大沼

- 高山植物、産業遺産の硫黄鉱山跡地調査(2004年、平成17年6月実施)
- コース 大谷地・大沼・硫黄鉱山跡地・五色登山口

川の中から尻別川の自然環境を観察

(全国モーターボート競走旅行者協議会助成事業で実施)



尻別川の川下り



尻別川の自然環境を観察の様子



尻別川の自然環境を観察の様子

尻別川の自然環境を観察の様子

鏡沼・神仙沼の自然環境を観察

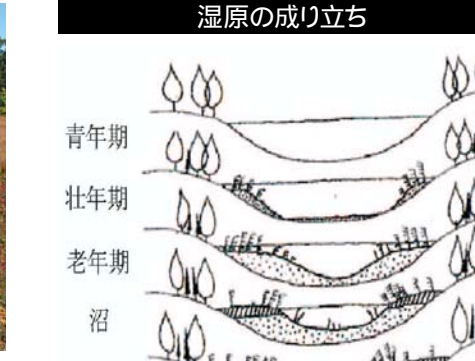
(全国モーターボート競走旅行者協議会助成事業で実施)



鏡沼 自然観察会



鏡沼 自然環境を観察の様子



鏡沼の自然環境を観察の様子

鏡沼の自然環境を観察の様子

湿原の成り立ち

青年期

壮年期

老年期

沼

沼沢

低層湿原

高層湿原前期

高層湿原後期

ウォッチングツアー(パンフより)ディスカバリー

町内リサイクル施設見学

(全国モーターボート競走旅行者協議会助成事業で実施)



道栄紙業(株)の施設見学



エコレージの施設見学



琴平リサイクル施設見学(民間)